

# 法 学 部

## 【法律学科】

甘利航司	教授	89
一木孝之	教授	90
稲垣浩	教授	91
植村勝慶	教授	92
大江毅	准教授	93
岡田康夫	教授	94
小川亮	准教授	95
小原薫	准教授	96
荻田真司	教授	97
川合敏樹	教授	98
川村尚子	准教授	99
坂本一登	教授	100
佐古田真紀子	教授	101
捧剛	教授	102
佐藤秀勝	教授	103
鈴木達次	教授	104
高内寿夫	教授	105
高橋信行	教授	106
羅芝賢	准教授	107
中川孝博	教授	108
中曾根玲子	教授	109
長又高夫	教授	110
姫野学郎	准教授	111
平地秀哉	教授	112
廣瀬美佳	教授	113
福岡英明	教授	114
藤嶋亮	教授	115
宮内靖彦	教授	116
本久洋一	教授	117
森川隆	教授	118
安田恵美	教授	119
山下裕樹	准教授	120

【 職・氏名 】	教授 甘利 航司 (AMARI Koji)
【 学 位 】	博士(法学) (2007年03月,一橋大学)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	一橋大学大学院 法学研究科 博士後期課程 修了
【 研究分野 】	刑法
【 所属学会 】	日本刑法学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	道路交通法72条前段における救護義務違反罪の検討	國學院法学	62,4	9～45	成文堂	2025年3月10日
論文	単著	ドメスティック・バイオレンスとRF型電子監視	國學院法学	62,3	1～24	成文堂	2024年12月10日
論文	単著	電子監視の基礎理論	法学セミナー	69,6	94～104	日本評論社	2024年6月1日
論文	単著	行動支配論と刑法理論	一橋法学	21,3	23～49	一橋大学法学研究科	2022年11月
論文	単著	警察官職務執行法7条と法令行為	國學院法学	59,4	9～45	成文堂	2022年3月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	電子監視―「今まで」と「これから」	犯罪社会学研究	42	171～181	現代人文社	2017年10月31日
論文	単著	性犯罪者に対するサンクション―GPS型電子監視、居住制限、そして登録・通知制度	國學院法学	51巻4号	403～458	成文堂	2014年03月10日
論文	単著	「電子監視(Electronic Monitoring)」研究序説	國學院法学	50巻4号	470～540	成文堂	2013年03月10日
著書等出版物	共著	『非拘禁的措置と社会内処遇の課題と展開』			416	現代人文社	2012年03月30日
講演・発表	単独	性犯罪者に対するサンクション―GPS型電子監視、居住制限、登録・通知制度―				第40回犯罪社会学会(テーマセッション)	2013年10月05日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	GPS型電子監視を使用した保釈制度の比較法的研究	日本学術振興会	甘利航司	24K04596	4550000	2024年04月01日～2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	RF型及びGPS型電子監視を使用した、スカー被害者の保護システムの構築	日本学術振興会	甘利航司	20K01355	4160000	2020年04月01日～2023年03月31日
科研費	基盤研究(C)	GPSテクノロジーを使用した犯罪者監視システムの我が国への導入可能性の検証	日本学術振興会	甘利航司	17K03435	4290000	2017年04月01日～2020年03月31日

担当授業科目
2024年度: 演習(4), 刑法各論I, 刑法各論II, 刑法総論I, 刑法総論II, (専)刑法各論I, (専)刑法各論II, (専)刑法応用演習, (専)刑法応用演習I, (専)刑法応用演習II

【 職・氏名 】	教授 一木 孝之 (ICHIKI Takayuki)
【 学 位 】	博士(法学) (2022年02月25日,早稲田大学)
【本学就任年月日】	2006年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業 早稲田大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 早稲田大学 大学院法学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	民法
【 所属学会 】	日本私法学会, 比較法学会, 九州法学会, スポーツ法学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	受任者の経済的不利益等に対する 委任者の填補責任(3)―民法650 条および「無過失損害賠償責任」に 関する一考察―	國學院法学	第62巻 第1号	1～ 101, 101	國學院大學法学会	2024年07月10日
論文	単著	委任者に生じた事情と委任の終了 可能性 ―契約関係の終点および始点をめ ぐる研究序説―	國學院法学	第60巻 第4号	83～ 131, 49	國學院大學法学会	2023年03月10日
著書等出版物	共著	民法判例百選Ⅱ [第9版]			208	有斐閣	2023年02月20日
著書等出版物	単著	委任契約の研究			273	成文堂	2021年01月15日
著書等出版物	共著	新基本法コンメンタール 債権2 民法第521条～第696条			330(264～282)	日本評論社	2020年10月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	委任の利他性―委任の解除、なら びに受任者の経済的不利益等の填 補をめぐって―	社会の発展と民法学 近江幸治先生古稀記 念論文集	下巻	349～ 385, 36	成文堂	2019年01月26日
論文	単著	「受任者の経済的不利益等に対す る委任者の填補責任(2)―民法650 条および『無過失損害賠償責任』に 関する一試論―」	國學院法学	第46巻 第1号	230-138,93	國學院大學法学会	2008年07月10日
論文	単著	「受任者の経済的不利益等に対す る委任者の填補責任(1)―民法650 条および『無過失損害賠償責任』に 関する一試論―」	國學院法学	第45巻 第2号	312～224,89	國學院大學法学会	2007年09月10日
Misc	単著	委任の解除(最判昭56・1・19)	法学教室	2019年 6月号 (通巻 465号)	26～ 30	有斐閣	2019年06月01日
著書等出版物	共著	新注釈民法(14)			694(239～349)	有斐閣	2018年10月18日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度:民事法入門, 民法・債権各論A, 民法・債権各論B, 演習(4), (専)基礎演習, (専)民法・債権各論

【 職・氏名 】	教授 稲垣 浩 (INAGAKI Hiroshi)
【 学 位 】	博士(政治学) (2011年02月,東京都立大学,社博第187号)
【本学就任年月日】	2015年04月01日
【 略 歴 】	学習院大学 法学部政治学科 卒業 東京都立大学 大学院社会科学研究科 政治学専攻 修士課程 修了 東京都立大学 大学院社会科学研究科 政治学専攻 博士課程 単位取得退学
【 研究分野 】	行政学・地方自治論
【 所属学会 】	日本行政学会, 日本公共政策学会, 日本政治学会, 自治体学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕人事院 2025 年度国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) 試験専門委員, 相模原市特定非営利活動法人指定審査会 会長, 日本公共政策学会年報委員会委員
【 受賞歴等 】	日本公共政策学会学会賞(奨励賞) (2016年06月12日)

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	自治体ライフヒストリー研究の方法と課題—研究者・職員協働型研究の経験から—	國學院法学	62, 3	25～48	國學院大學法学会	2024年12月01日
論文	共著	自治体のウクライナ避難民支援における音声翻訳システムの使用に関する考察	通訳翻訳研究	23	37～59	日本通訳翻訳学会	2024年03月25日
論文	単著	セメントと味噌蔵 地域における開発政策と地方政治の構造	國學院法学	59, 3	1～74	國學院大學法学会	2021年12月10日
論文	単著	知事と組織編成:一九八〇年代以降の府県組織改革とその過程(二・完)	國學院法学	59, 1	1～56	國學院大學法学会	2021年07月30日
論文	単著	その時、組織は「開いた」か?—戦後初期における自治体職員の任用制度とその運用	季刊行政管理研究	第174号	48～63	一般財団法人行政管理研究センター	2021年06月25日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	戦後初期における中小自治体の組織・人事の一事例(1)「大牟田市課員名簿」の分析を通じて	國學院法学	57,4	206～177	國學院大學法学会	2020年03月10日
論文	単著	知事と組織編成:一九八〇年代以降の府県組織改革とその過程(1)	國學院法学	56, 4	1～61	國學院大學法学会	2019年03月10日
論文	単著	戦後地方公務員任用制度の形成:「選考」規定の成立と任用の実態	國學院法学	56, 1	1～49	國學院大學法学会	2018年07月10日
論文	単著	戦後府県企画担当部局の形成と展開(査読付)	年報行政研究	41号	131～153	日本行政学会	2006年05月01日
著書等出版物	単著	戦後地方自治と組織編成「不確実」な制度と地方の「自己制約」			289	吉田書店	2015年03月01日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	代表的官僚制論から見る日本官僚制:国際比較に基づく定性・定量混合アプローチ	日本学術振興会	金井利之	24H00137	47580000	2024年04月01日～2028年03月31日
科研費	基盤研究(C)	ジェネラリスト型行政職員像の再検討:学歴・ジェンダー・専門性	日本学術振興会	木寺元	23K01264	4680000	2023年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(B)	「日本型統治システム」の再検討—比較、聞き取り、アンケート調査に基づく学際的接近	日本学術振興会	大西祥世	22H00811	15990000	2022年04月01日～2026年03月31日

**担当授業科目**

2024年度: オムニバス・セミナー(現代社会の最前線), 行財政概論, 基礎演習A, 基礎演習B, 行政学A, 行政学B, 地方自治I, 地方自治II, 地方自治論A, 地方自治論B, フィールドワーク(自治体行政の現在), 演習I, 演習II, 演習(4)

【 職・氏名 】	教授 植村 勝慶 (UEMURA Katsuyoshi)
【 学 位 】	法学修士
【本学就任年月日】	1990年04月01日
【 略 歴 】	岡山大学 法文学部 法学科 卒業 名古屋大学 大学院法学研究科 博士課程前期 修了 名古屋大学 大学院法学研究科 博士課程後期 満期退学
【 研究分野 】	憲法
【 所属学会 】	日本公法学会, 全国憲法研究会, 憲法理論研究会, 民科法律部会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕東京都市町村職員研修所の公務員研修講師
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共著	『現代憲法入門講義(新7版)』			357(128～ 141、322～ 342)	北樹出版	2024年02月20日
著書等出版物	共著	『憲法のいま:日本・イギリス【補訂版】』			325(210～ 215、237～ 245、260～ 266、268～ 271)	敬文堂	2022年09月05日
著書等出版物	共著	『憲法講義【第3版】』			539(41～88)	日本評論社	2022年03月31日
著書等出版物	共著	『フォーカス憲法一事例からまなぶ 憲法基盤』			352(330～337)	北樹出版	2020年10月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共著	『グローバル化時代における民主主義の変容と憲法学』			552(253～281)	日本評論社	2016年02月28日
著書等出版物	共著	『憲法の「現代化」ーウェストミンスター型憲法の変動』			440(221～233)	敬文堂	2016年02月20日
著書等出版物	共著	『事例研究憲法(第2版)』			583(53～69、 127～143、484 ～515)	日本評論社	2013年07月10日
著書等出版物	共著	『戦後法学と憲法』			1276(1022～ 1039)	日本評論社	2012年05月03日
著書等出版物	共著	『現代憲法における安全』			845(263～286)	日本評論社	2009年02月25日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	イギリス憲法の「現代化」と比較憲法モデル構築のための総合的研究	日本学術振興会	柳井健一	15H03292	10530000	2015年04月01日～ 2018年03月31日
科研費	基盤研究(B)	ポスト・デモクラシー状況下のウェストミンスター・モデル憲法の理論的・実証的研究	日本学術振興会	松井幸夫	23330012	14040000	2011年04月01日～ 2014年03月31日
科研費	基盤研究(B)	グローバル化時代における民主主義の再創造に向けた比較憲法的研究	日本学術振興会	本秀紀	21330005	15080000	2009年04月01日～ 2012年03月31日

担当授業科目
2024年度: 演習(4), 公法入門, 比較法入門【月曜日オンデマンド型授業】

【 職・氏名 】	准教授 大江 毅 (OE Tsuyoshi)
【 学 位 】	修士(法学)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	大阪大学 法学部 卒業 大阪大学 大学院法学研究科 前期課程 修了 大阪大学 大学院法学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	民事訴訟法、共有物分割手続に関する史的研究、民事訴訟法、民事執行法、倒産法
【 所属学会 】	法政大学ボアソナード記念現代法研究所、日本民事訴訟法学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]日本民事訴訟法学会 理事、日本民事訴訟法学会 理事
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	民事訴訟手続と実効的救済に関する少考—広島高決令和2・11・30判時2505号28頁を素材として	法政大学現代法研究所叢書54・金子匡良・西田幸介編著『実効的救済の現状と課題』		67～90, 24	法政大学出版局	2025年03月21日
論文	単著	一部請求	法学教室	530	11～15, 5	有斐閣	2024年11月01日
論文	単著	遺産確認の訴えの訴訟物に関する少考	『次世代民事司法の理論と実務—池田辰夫先生古稀祝賀論文集』		170～183	法律文化社	2023年10月05日
Misc	単著	複数の原告による通常共同訴訟で訴額について合算法則が適用される場合における、訴訟救助の付与の対象となる訴え提起の手数料の額	判例秘書ジャーナル		8	株式会社LIC	2024年08月30日
講演・発表		遺産確認の訴えに関する理論的検討	2021年度(第91回)日本民事訴訟法学会大会			日本民事訴訟法学会	2021年05月22日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	遺産確認の訴えに関する覚書き	阪大法学	67巻3・4号	24	大阪大学大学院法学研究科	2017年11月30日
論文	単著	民法上の組合の残余財産の分割と共有物分割訴訟	國學院法学	49巻1号	45	國學院大學法学会	2011年07月10日
論文	単著	「民法二五九条に関する一考察—法典調査会における議論を手がかりとして—」	『大阪経済法科大学法学論集』	65号	1～33, 33	大阪経済法科大学法学会	2007年03月01日
論文	単著	「共有物分割訴訟に関する史的考察—民法二五八条制定過程を中心に—」	『阪大法学』	53巻2号	467～488	大阪大学大学院法学研究科	2003年08月01日
著書等出版物	共著	Next 教科書シリーズ 民事訴訟法 [第2版]			195～234	弘文堂	2016年01月30日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

**担当授業科目**

2024年度: 民事手続法概論【月曜日オンデマンド型授業】、(専)民事手続法概論、演習(4)、民事訴訟法IA、民事訴訟法IB、(専)民事訴訟法IA、(専)民事訴訟法IB

【 職・氏名 】	教授 岡田 康夫 (OKADA Yasuo)
【 学位 】	修士(法学) (1994年03月15日,早稲田大学,第4号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業 早稲田大学 大学院法学研究科 民事法学専攻 修士課程 修了 早稲田大学 大学院法学研究科 民事法学専攻 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	区分所有, 所有権, 共同所有, 民法
【 所属学会 】	日本私法学会, 日本マンション学会, 地籍問題研究会, 日本土地法学会, 日本登記法学会, 比較法学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕公益財団法人マンション管理センター マンション管理士試験委員, 地籍問題研究会 幹事, 日本マンション学会 理事, 仙台市マンション管理適正化推進計画検討委員, 地籍問題研究会 副代表幹事兼事務局長, 日本マンション学会 学術委員長
【 受賞歴等 】	論文賞(2019年04月), 研究奨励賞(2016年04月)

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	オーストラリアにおける区分所有建物の瑕疵への取組み	鎌野邦樹先生古稀記念論文集『マンション区分所有法の課題と展開』		313～ 326, 14	日本評論社	2023年10月01日
論文	単著	イギリス連邦系の国々における管理組合と理事の責任	マンション学	72	38～ 44, 7	日本マンション学会	2022年12月28日
論文	単著	イギリス連邦系の国々との比較法的アプローチ	マンション学	67	100～ 107	日本マンション学会	2020年12月10日
論文	単著	災害とマンション	現代消費者法	47	42～ 48	民事法研究会	2020年06月15日
講演・発表	単独	共有関係 共有物の管理・使用権限を中心に	地籍問題研究会第29回定例研究会			地籍問題研究会	2021年07月17日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	区分所有者の集会の決議と定足数を考える——オーストラリア法の考察——	土地住宅法の法理論と展開——藤井俊二先生古稀祝賀論文集——		549～ 575	成文堂	2019年12月21日
論文	単著	マンションの解消を考える——オーストラリア・ニューサウスウェールズ州の区分所有解消制度を参考に——	『市民生活関係法の新たな展開——大西泰博先生古稀記念論文集——』		35～ 63	敬文堂	2019年01月26日
論文	単著	オーストラリア(ニューサウスウェールズ州)の区分所有管理の現状	マンション学	61	88～ 94	日本マンション学会	2018年12月31日
論文	単著	所有者不明土地問題にみる日本の地籍制度の法的課題	第11回国際地籍シンポジウムプログラム・論文集		128～ 138	日本土地家屋調査士会連合会	2018年11月
論文	単著	入会権の現代的活用	早稲田民法学の現在——浦川道太郎先生・内田勝一先生・鎌田薫先生古稀記念論文集——		141～ 161	成文堂	2017年07月09日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	東アジア4カ国のマンション法制の比較と課題—欧米法との比較も踏まえて—	日本学術振興会	鎌野邦樹	15K03227	4550000	2015年04月01日～ 2018年03月31日
科研費	基盤研究(C)	マンションの老朽化・被災等に関する比較法的考察を基礎とした立法論研究	日本学術振興会	鎌野邦樹	24530103	5070000	2012年04月01日～ 2015年03月31日

**担当授業科目**

2024年度:演習(4), (専)民法・物権, 民法・物権A, 民法・物権B

【 職・氏名 】	准教授 小川 亮 (OGAWA Ryo)
【 学 位 】	修士(法学) (2018年03月, 東京大学,)
【本学就任年月日】	2024年04月01日
【 略 歴 】	九州大学 法学部 卒業 東京大学大学院 法学政治学研究科 総合法政専攻 修士課程 修了 東京大学大学院 法学政治学研究科 総合法政専攻 博士課程 修了
【 研究分野 】	公法学、哲学
【 所属学会 】	応用哲学会, 日本公法学会, 日本科学哲学会, 日本法哲学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員
【 受賞歴等 】	博士論文特別優秀賞(2021年03月), 2020年度 日本法哲学会奨励賞(2019年期)(2020年11月)

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	法解釈の体系的性	國學院法学	62, 1		國學院大學	2024年08月
論文	単著	公物管理権論を問いなおす(2)	自治研究	100, 4	113～ 130	第一法規	2024年04月10日
論文	単著	公物管理権論を問いなおす(1)	自治研究	100, 1	135～ 155	第一法規	2024年01月10日
論文	単著	哲学の一般的方法としての「最良の 説明への推論」	科学哲学	55, 1	1～ 21	日本科学哲学会	2022年12月10日
論文	単著	情報提供に対する同意はなぜ必要 なのか	情報法制研究 = Journal of law and information system	11	51～ 67	情報法制学会	2022年05月

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	ロナルド・ドゥオーキンの解釈方法 論の分析とその擁護: Justice for Hedgehogsを中心に	国家学会雑誌 = The journal of the Association of Political and Social Sciences	132, 11	1049～ 1118	東京大学大学院法 学政治学研究科	2019年12月
論文	単著	どこまでも主観的な解釈の方法論: 規則のパラドックス・暴露論法・説明 主義論証	法と哲学	5	63～ 114	信山社	2019年06月

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究	行政裁量審査基準論の定立	日本学術振興会	小川 亮	22K13280	4290000	2022年04月01日～ 2026年03月31日
科研費	研究活動ス タート支援	法学方法論の定立	日本学術振興会	小川 亮	21K20081	2340000	2021年08月30日～ 2023年03月31日
科研費	特別研究員 奨励費	日本のための憲法解釈方法論の体 系的・横断的検討: 日本・英米圏・フ ランスを中心に	日本学術振興会	小川 亮	18J22376	1900000	2018年04月～2021 年03月

**担当授業科目**

2024年度: 憲法IA, 憲法IB, 公法入門, 憲法IIA, 憲法IIB, 法学(日本国憲法), 演習(4), 法学(日本国憲法)

【 職・氏名 】	准教授 小原 薫 (OHARA Kaoru)
【 学 位 】	法学修士
【本学就任年月日】	1993年04月01日
【 略 歴 】	北海道大学 法学部 卒業 北海道大学 大学院 法学研究科 博士課程前期 修了 北海道大学 大学院 法学研究科 博士課程後期 満期退学
【 研究分野 】	日本政治思想史
【 所属学会 】	日本政治学会, 政治思想学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	The Japanese Socialists and Anarchists in the San Francisco Bay Area, from 1900 to 1910	『國學院法學』	第40巻 ～第1 号	108～128, 128	國學院大學法学会	2002年07月01日
論文	単著	「中江兆民と討論」(2・完)	『國學院法學』	第33巻 第4号	89～108	國學院大學法学会	1996年03月01日
論文	単著	「中江兆民と討論」(1)	『國學院法學』	第32巻 第4号	271～296	國學院大學法学会	1995年03月01日
論文	単著	「あるべき政治社会の「理義」を求めて」	『北大法学論集』	40巻5・ 6号	2449～2484	北海道大学法学部	1990年09月01日
著書等出版物	共著	『日本思想史ハンドブック』			256(128～133)	新書館	2008年02月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 政治文化論, 日本政治思想史A, 日本政治思想史B, 政治学特殊講義 I (今の日本を取り巻く問題), 政治哲学B, 現代社会論, 基礎演習A, 基礎演習B, 演習I, 演習II, 演習(4)

【職・氏名】	教授 荏田 真司 (KARITA Shinji)
【学位】	修士(法学)
【本学就任年月日】	1997年04月01日
【略歴】	東京大学 法学部 第3類 卒業 東京大学 大学院法学政治学研究科 博士課程前期 修了 東京大学 大学院法学政治学研究科 博士課程後期 退学
【研究分野】	政治思想史、政治哲学、政治理論
【所属学会】	政治思想学会, 日本政治学会, 米国政治学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕国際日本文化研究センター 共同研究員, 国際日本文化研究センター 客員教授
【受賞歴等】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「マッカーサーの因果性論」	『國學院法学』	第60巻 第4号	1～ 30, 30	國學院大学法学会	2023年03月20日
論文	単著	「リンドとマッキーバー——もう一つの社会科学方法論争」	『國學院法学』	第58巻 第4号	1～ 30, 30	國學院大學法学会	2021年03月10日
著書等出版物	共著	『差別の構造と国民国家』			337(35～58、 323～337)	法蔵館	2021年10月15日
著書等出版物	単訳	タラル・アサド、『リベラル国家と宗教』			248	人文書院	2021年04月20日
著書等出版物	共訳	アイリス・マリオン・ヤング、『正義と差異の政治』			402(171～ 218、219～ 266、315～ 354)	法政大学出版局	2020年09月25日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「『宗教』・『世俗』・『多元主義』—タラル・アサドと政治理論—」	『國學院法学』	第55巻 第4号	1～ 29, 29	國學院大學法学会	2018年03月10日
論文	単著	「『応用社会学序説』再読—ラザスフェルドの社会科学観をめぐって—」	『國學院法学』	第52巻 第4号	1～ 22, 392	國學院大學法学会	2015年03月10日
著書等出版物	共訳	『ポストコロニアル研究の遺産 翻訳不可能なものを翻訳する』			350(19-30)	人文書院	2022年12月20日
著書等出版物	単訳	【翻訳】タラル・アサド、『自爆テロ』			261	青土社	2008年07月18日
講演・発表	単独	コメント「アサドの視点から見た政治理論」	日本政治学会研究会 大会分科会D-2			日本政治学会	2022年10月04日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	後期マッキーバーの「社会科学」論	日本学術振興会	荏田 真司	16K03483	1950000	2016年04月01日～ 2021年03月31日
科研費	基盤研究(C)	ラザスフェルドとアメリカの社会科学	日本学術振興会	荏田 真司	23530163	1300000	2011年04月28日～ 2014年03月31日
科研費	基盤研究(C)	第一次世界大戦への参戦問題を契機とするアメリカの改革派知識人の分裂とその意義	日本学術振興会	荏田 真司	17530113	1600000	2005年04月01日～ 2006年03月31日

担当授業科目	
2024年度:演習I, 演習II, 演習(4), 政治哲学入門【土曜日オンデマンド型授業】、共存・共生の思想(持続可能な社会への取り組み)	

【 職・氏名 】	教授 川合 敏樹 (KAWAI Toshiki)
【 学位 】	修士(法学)
【本学就任年月日】	2008年04月01日
【 略 歴 】	明治学院大学 法学部 法律学科 卒業 東京都立大学 大学院社会科学部 基礎法学専攻 修士課程 修了 一橋大学 大学院法学研究科 法学・国際関係専攻 博士後期課程 単位取得満期退学
【 研究分野 】	行政法、環境法
【 所属学会 】	環境法政策学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕墨田区行政不服審査会、墨田区情報公開制度及び個人情報保護制度運営審議会、川崎市情報公開・個人情報保護審査会、中間貯蔵施設における除去土壌等の再生利用方策検討ワーキンググループ(環境省)、足立区情報公開・個人情報保護審議会、足立区情報公開・個人情報保護審査会、渋谷区情報公開・個人情報保護審議会、環境法政策学会 企画運営委員会 研究会、シンボ企画幹事、多摩市 情報公開・個人情報保護審議会 委員、茅ヶ崎市公務員研修担当講師、足立区情報公開・個人情報保護審査会 副会長、足立区情報公開・個人情報保護審議会 会長、東京都行政不服審査会 委員、渋谷区情報公開・個人情報保護審議会 委員
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	廃棄物処理法の手続的課題 ― 一般廃棄物処理業に関する計画許 可制度をめぐって―	行政手続の理論と実 務: デジタル社会を 見据えて		218(79~93)	日本評論社	2024年12月01日
論文	単著	伊方原発三号機運転差止仮処分 命令申立却下決定に対する即時抗 告事件[広島高決令和2.1.17]	環境法研究	48	84~ 92	有斐閣	2023年11月01日
Misc	単著	高レベル放射性廃棄物最終処分施 設の設置手続をめぐる法的問題: 時の問題	法学教室	487	60~ 65, 6	有斐閣	2021年04月01日
著書等出版物	共著	原発再稼働と公法			270(126~ 136)	日本評論社	2021年02月20日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	環境法における持続性志向・持続 性原則の展開に関するノート	立教法学	102号	238~ 257	有斐閣	2020年03月31日
論文		新法解説 健康増進法改正と東京 都条例: 受動喫煙防止をめぐって	法学教室	463	58~ 63	有斐閣	2019年04月
論文		統合的事業案許可の制度設計: 環 境法典独立専門家委員会による構 想	一橋法学	17~ 2	129~ 144	一橋大学大学院法 学研究科	2018年07月10日
論文		変更許可制度による環境・健康リス クへの対処をめぐる問題について (特集 順応型リスク制御の新展開)	環境法研究	7	47~ 58	信山社	2017年11月
論文		原発の運転に関する手続的問題の 法的検討: 原子力規制検査と40年 運転期間制限	エネルギーレビュー	37~ 6	48~ 51	エネルギーレビュー センター	2017年06月

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	地域自律・広域連携支援型多層防 災システム構築の法政策研究	日本学術振興会	大田 直史	25285013	14170000	2013年04月01日~ 2016年03月31日

**担当授業科目**

2024年度:環境法, (専)行政法IA, 演習(4), 行政法IIB, 行政法IIA, (専)行政法IIB, (専)行政法IIA, (専)行政法IB, 公法入門

【 職・氏名 】	准教授 川村 尚子 (KAWAMURA Naoko)
【 学 位 】	修士(法学)
【 本学就任年月日 】	2017年04月01日
【 略 歴 】	同志社大学 法学部法律学科 卒業 同志社大学 大学院法学研究科 博士前期課程 修了 同志社大学 大学院法学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	民法、消費者法
【 所属学会 】	日本私法学会, 消費者法学会, ヨーロッパ消費者法研究会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	EUデジタルサービス法規則におけるオンライン・マーケットプレイス規制	デジタル時代における消費者法の現代化		360～379	日本評論社	2024年02月29日
論文	単著	デジタルサービス法(DSA)規則提案にみるデジタルプラットフォーム規制	消費者法研究	14	157～219	信山社	2023年09月30日
論文	単著	オンライン・プラットフォームに関するELIモデル準則: 紹介と翻訳 (特集 デジタル・プラットフォームと消費者保護(1))	消費者法研究 = Review of consumer law = Revue de droit de la consommation = Zeitschrift für Verbraucherrecht	8	49～81	信山社	2020年11月
Misc	共著	ELIの製造物責任提案の紹介と翻訳	デジタル時代における消費者法の現代化		380～407	日本評論社	2024年02月29日
Misc	単著	デジタル・サブスクリプション: サブスク経済の進展と消費者トラブル	法学セミナー	68巻 12号	19～24	日本評論社	2023年11月21日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「売主の追完利益の保障に関する一考察——ドイツ法における議論を素材として——」	同志社法学	第65巻 6号 (367号)	1867～1966	同志社大学	2014年03月01日
Misc	単著	[翻訳]EUデジタルサービス法(規則)提案	消費者法研究	10号	339～415	信山社	2021年09月30日
Misc	単著	特集コラム「約款による取引と『定型約款』」	18歳からはじめる民法		56～57, 1	法律文化社	2019年09月30日
Misc	単著	翻訳「オンライン仲介プラットフォームに関する指令 討議草案」	國學院法学	第57巻 第1号	15～34, 19	國學院大學法学会	2019年07月10日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	オンラインプラットフォーム取引における消費者の信頼の確保	日本学術振興会	川村尚子	21K01226	780000	2021年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(B)	デジタルプラットフォーム取引に関する契約法的研究	日本学術振興会	鹿野菜穂子	21H00670	15990000	2021年04月01日～ 2024年03月31日

担当授業科目	
2024年度:(専)民法応用演習I, 基礎演習, 民法・債権各論A, 法律学特殊講義Ⅱ(インターネット取引と消費者法), (専)民法・総則, 民法入門, (専)民法応用演習II, 民法・総則【月曜日オンデマンド型授業】, (専)民法応用演習I	

【 職・氏名 】	教授 坂本 一登 (SAKAMOTO Kazuto)
【 学 位 】	法学博士 (1989年03月, 東京都立大学)
【本学就任年月日】	1993年10月01日
【 略 歴 】	東京都立大学 法学部 卒業 東京都立大学 社会科学研究科 修士課程 修了 東京都立大学 社会科学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	日本政治史
【 所属学会 】	日本政治学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	サントリー学芸賞

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	第1次西園寺内閣と政友会-「与党システム」の誕生と議会審議の政治資源化	『東洋文化研究』	25号	37～76	学習院大学東洋文化研究所	2023年03月31日
著書等出版物	単著	思想史講義 明治篇Ⅱ			352(25-40)	筑摩書房	2023年02月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	明治憲法体制の成立	講座日本歴史	16巻	314(1～34)	岩波書店	2014年06月20日
論文	単著	「伊藤博文と山県有朋」	伊藤隆他編『山県有朋と近代日本』		335(127-160)	吉川弘文館	2008年03月01日
著書等出版物	単著	岩波文庫『憲法義解』解説			(245-301)	岩波書店	2019年06月14日
著書等出版物	単著	岩倉具視			112	山川出版社	2018年07月01日
著書等出版物	単著	伊藤博文と明治国家形成			423	講談社	2012年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	伊藤博文と「政治」	日本学術振興会	坂本一登	18530099	3190000	2006年度～2007年度
科研費	基盤研究(C)	立憲君主制の比較研究(日・独・英)	日本学術振興会	坂本一登	07620067	800000	1995年度～1996年度

担当授業科目	
2024年度: 日本政治史B, 演習I, 演習II, 政治家論, 日本政治史A, 基礎演習B, 演習(4)	

【 職・氏名 】	教授 佐古田 真紀子 (SAKOTA Makiko)
【 学 位 】	修士(法学)
【本学就任年月日】	2014年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 政治経済学部政治学科 卒業 早稲田大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 早稲田大学 大学院法学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	民事手続法
【 所属学会 】	日本民事訴訟法学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 日本民事訴訟法学会 理事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「無剰余の場合における有名義債権者による仮差押えについて ―ベルギー法を参考に―」	國學院法学	第58巻 第2号	1～27	國學院大學法学会	2020年09月10日
論文	単著	「ベルギーにおける有名義債権者による債務者の不動産の保全」	加藤哲夫先生古稀祝賀論文集 民事手続法の発展		811～827	成文堂	2020年04月03日
Misc	単著	「保佐開始の審判事件を本案とする保全処分の申立人による、同処分選任された財産管理者が提出した書面の謄写申立て」	新・判例解説 Watch	vol.32	145～148	日本評論社	2023年04月25日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「仮執行と弁済の効果」	國學院法学	第52巻 第4号	364～331	國學院大學法学会	2015年03月01日
論文	単著	「ドイツにおける将来の給付の訴えの適法性について(2)」	旭川大学経済学部紀要	第72号	33～72	旭川大学	2013年03月01日
論文	単著	「ドイツにおける将来の給付の訴えの適法性について(1)」	旭川大学経済学部紀要	第69号	27～56	旭川大学	2010年12月01日
論文	単著	「オーストリア法における将来の給付の訴えの適法性について」	旭川大学経済学部紀要	第67・ 68合併 号	1～29	旭川大学	2009年12月01日
Misc	単著	「民訴法324条に基づく移送決定の取消し」	判例秘書ジャーナル	HJ1000 65		LIC	2019年11月29日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度:派遣研究期間のため担当授業科目なし

【 職・氏名 】	教授 捧 剛 (SASAGE Tsuyoshi)
【 学 位 】	法学修士
【 本学就任年月日 】	1992年04月01日
【 略 歴 】	中央大学 法学部法律学科 卒業 一橋大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 一橋大学 大学院法学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	英米法、イギリス法制史
【 所属学会 】	比較法学会, 日米法学会, 法とコンピュータ学会, 情報通信学会, JAPAN SKEPTICS
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	イギリスにおけるたばこ規制 一新 たな動き(その3・完)	國學院法学	53, 4	67～157, 91	國學院大學法学会	2016年03月10日
論文	単著	イギリスにおけるたばこ規制 一新 たな動き(その2)	國學院法学	53, 2	1～90, 90	國學院大學法学会	2015年09月10日
論文	単著	イギリスにおけるたばこ規制 一新 たな動き(その1)	國學院法学	53, 1	1～63, 63	國學院大學法学会	2015年07月10日
論文	単著	「イギリスにおけるたばこ規制(2・ 完)」	國學院法学	51, 1	146～396, 252	國學院大學法学会	2013年07月10日
論文	単著	「イギリスにおけるたばこ規制(その 1)」	國學院法学	50, 4	67	國學院大學法学会	2013年03月10日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	重点領域 研究	情報公開と個人情報保護	日本学術振興会	堀部 政男	4211115	14000000	1994年～1995年

担当授業科目	
2024年度: 外国法A, (専)現代外国法事情B, 演習(4), (専)現代外国法事情A, グローバルインターンシップ&セミナー, 地域研究入門 【火曜日オンデマンド型授業】	

【 職・氏名 】	教授 佐藤 秀勝 (SATO Hidekatsu)
【 学 位 】	博士(法学) (2003年03月,一橋大学,法第67号)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	茨城大学 人文学部 社会科学科 卒業 横浜国立大学 大学院国際経済法学研究科 修士課程 修了 一橋大学 大学院法学研究科 博士課程 修了
【 研究分野 】	民法
【 所属学会 】	日本私法学会, 比較法学会, 日本消費者法学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	事業譲渡に伴う契約上の地位の移転に関する一考察——とくに残存当事者の承諾をめぐる問題について——	國學院法学	62巻4号	1～ 42, 42	國學院大学法学会	2025年03月10日
論文	単著	契約当事者の地位と形成権(二)——日本法の再検討	國學院法学	62巻3号	1～ 46, 46	國學院大学法学会	2024年12月10日
論文	単著	契約当事者の地位と形成権(一)——日本法の再検討	國學院法学	62巻2号	1～ 31, 31	國學院大学法学会	2024年09月10日
論文	単著	オーストリアにおける契約引受論とハインツ・クレイチ (Heinz Krejci)——その学問的貢献と新たな法定契約引受の創造——	社会の多様化と私法の展開——小野秀誠先生古稀記念論文集		95～ 111, 17	法律文化社	2024年02月20日
Misc	単著	失踪宣告の「利害関係人」(民法30条1項)に該当しないとされた事例	法学セミナー増刊 速報判例解説vol.30 新・判例解説Watch		79～ 82, 4	日本評論社	2022年04月25日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	契約当事者の地位と形成権(三)	國學院法学	52巻2号	23～ 79, 57	國學院大学法学会	2014年09月10日
論文	単著	契約当事者の地位と形成権(二)	國學院法学	51巻4号	33～64, 32	國學院大学法学会	2014年03月10日
論文	単著	契約当事者の地位と形成権(一)	國學院法学	51巻3号	1～50,50	國學院大学法学会	2013年12月10日
論文	単著	オーストリア企業法における企業譲渡と契約引受	松本恒雄先生還暦記念『民事法の現代的課題』		723～ 752, 30	商事法務	2012年12月25日
論文	単著	「契約上の地位の移転—立法化をめぐる諸問題の検討—」	『社会の変容と民法典』		274～ 292,19	成文堂	2010年03月20日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 演習(4), 民事法入門, (専)民法・債権総論, (専)基礎演習

【 職・氏名 】	教授 鈴木 達次 (SUZUKI Tatsuji)
【 学 位 】	法学修士
【本学就任年月日】	2012年04月01日
【 略 歴 】	中央大学 法学部法律学科 卒業 早稲田大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 慶應義塾大学 大学院法学研究科 後期博士課程 満期退学
【 研究分野 】	商法・保険法
【 所属学会 】	日本私法学会, 日本保険学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
Misc	単著	「傷害保険契約における外来性の要件—主張立証責任」	『別冊ジュリスト 保険法判例百選[第2 版]』	No.271	208～ 209, 2	有斐閣	2025年03月20日
その他	共著	「2022年学界回顧・商法総則商行為・保険・海商・航空法」	『法律時報』	94巻13 号	118～ 126, 9	日本評論社	2022年12月01日
その他	共著	「2021年学界回顧・商法総則商行為・保険・海商・航空法」	『法律時報』	93巻1 3号	122～ 131, 10	日本評論社	2021年12月01日
その他	共著	「2020年学界回顧・商法総則商行為・保険・海商・航空法」	『法律時報』	92巻1 3号	120～ 129, 10	日本評論社	2020年12月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「生命保険契約における現物給付」	『國學院法學』	52巻1 号	35	國學院大學法学会	2014年07月10日
論文	単著	「保険法における保険契約の概念」	『桐蔭法学』	18巻2 号	1～ 32	桐蔭法学会	2012年03月25日
論文	単著	「失念株と株主の権利」	『法学研究』	82巻12 号	403～ 435	慶應義塾大学法学 研究会	2009年12月28日
論文	単著	「新会社法における自己株式処分の法的性質に関する一考察」	『桐蔭論叢』	17号	83～ 98	桐蔭横浜大学	2007年12月15日
論文	単著	「遺言による保険金受取人指定・変更の可否」	『商法の歴史と論理— 倉沢康一郎先生古稀 記念』		617～ 648	新青出版	2005年07月16日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 基礎演習, 商取引法A, 商取引法B, 民法法入門, 金融サービス法A, 金融サービス法B, 演習(4), 株式会社法II, (専)判例演習

【 職・氏名 】	教授 高内 寿夫 (TAKAUCHI Hisao)
【 学位 】	法学博士 (1990年03月, 國學院大學, 乙法第2号)
【 本学就任年月日 】	2005年04月01日
【 略 歴 】	新潟大学 法文学部法学科 卒業 新潟大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 國學院大學 大学院法学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	刑事訴訟法、少年法
【 所属学会 】	日本刑法学会, 日本犯罪社会学会, 日本法社会学会, 法と心理学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 法務省矯正研修所講師
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	2021年改正少年法の検討	國學院法學	59巻4号	1～30, 30	國學院大學法学会	2022年03月10日
Misc	共著	審判開始決定に対する抗告の可否	少年法判例百選[第2版]		152～153, 2	有斐閣	2024年11月30日
著書等出版物	単著	人権の精神—私たちが理解すべきただひとつのこと—			261	成文堂	2021年07月20日
著書等出版物	共著	刑事法学と刑事弁護の協働と展望—大出良知・高田昭正・川崎英明・白取祐司先生古稀祝賀論文集—			974(781～801)	現代人文社	2020年12月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	被疑者取調べの適法性について	國學院法學	52巻4号	95～133, 49	國學院大學法学会	2015年03月10日
論文	単著	参考人取調べの録音・録画について	國學院法學	51巻4号	95～133, 49	國學院大學法学会	2014年03月10日
著書等出版物	共著	子どもの法定年齢の比較法研究			388(285～310)	成文堂	2017年02月10日
著書等出版物	単著	公判審理から見た捜査—予審的視点の再評価—			390	成文堂	2016年02月20日
著書等出版物	共著	少年法の理念			381(45～61, 314～378)	現代人文社	2010年04月10日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度: 少年法A, 少年法B, 基礎法律学Ⅱ(公務員試験対策・刑事法入門), 演習(4), 基礎法律学Ⅱ(現代社会の諸問題と法), 論述問題演習	

【 職・氏名 】	教授 高橋 信行 (TAKAHASHI Nobuyuki)
【 学 位 】	博士(法学) (2009年01月, 東京大学, 甲第24243号)
【本学就任年月日】	2005年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 法学部 法学科 卒業 東京大学大学院 法学政治学研究科 公法専攻修士課程 修了 東京大学大学院 法学政治学研究科 公法専攻博士課程 満期退学
【 研究分野 】	公法(行政法)
【 所属学会 】	フランス行政法研究会, 行政判例研究会, 日本公法学会, 日仏法学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]行政書士試験委員, 総務省インターネット上の違法・有害情報への対応に関する検討会委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	上場会社等監査人登録制度と日本 公認会計士協会の任務	会計・監査ジャーナル No836	37巻 3 号	47～ 55, 9	第一法規	2025年03月01日
論文	単著	地域公共交通の再生と地方自治体 の役割	地方自治	907号	2～ 28, 29	ぎょうせい	2023年06月01日
著書等出版物	共著	学生生活の法学入門 第2版			232	弘文堂	2024年02月29日
著書等出版物	単著	共和国の崩壊と再生—ルネ・カピタ ンの民主制理論			352	弘文堂	2024年02月29日
著書等出版物	単著	新訂 行政法(放送大学教材)			245	放送大学教育振興 会	2022年03月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	雑誌『法学教室』演習欄(行政法)	法学教室	463号 ～474 号		有斐閣	2019年04月01日～ 2020年03月01日
論文	単著	「1962年憲法改正とルネ・カピタン」 宇賀＝交告編『現代行政法の構造 と展開：小早川光郎先生古稀記 念』			833～ 858, 26	有斐閣	2016年09月01日
論文	単著	原子力行政と透明性：フランス原子 力情報公開と地域情報委員会(CLI)	行政法研究	10号	1～ 42, 42	信山社	2015年08月01日
論文	単著	鉄道事業法と原告適格——小田急 高架化訴訟大法廷判決その後	国学院法学	47巻 2 号	24	国学院大学	2009年09月01日
著書等出版物	単著	「統合と国家—国家嚮導行為の諸 相」			396	有斐閣	2012年12月20日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	「医療ケア者へのケア」を考える学 際協働研究—終末期の全人的ケア を展望して—	日本学術振興会	山田 有希子	19K00002	2340000	2019年04月01日～ 2023年03月31日

担当授業科目	
2024年度:(専)行政法応用演習,(専)行政法応用演習I,(専)行政法応用演習II,演習(4),行政法IB,地方自治法【金曜日オンデマンド型授 業】,行政組織法【金曜日オンデマンド型授業】,公法入門	

【 職・氏名 】	准教授 羅 芝賢 (NA Jihyun)
【 学位 】	博士(法学) (2017年09月15日, 東京大学, 博法第331号)
【 本学就任年月日 】	2020年04月01日
【 略 歴 】	高麗大学 文学部東洋史学科 卒業 東京大学 大学院法学政治学研究科修士課程 修了 東京大学 大学院法学政治学研究科博士課程 修了
【 研究分野 】	科学技術と行政, 比較歴史分析, 行政学
【 所属学会 】	日本行政学会, 日本政治学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 一般財団法人 自治総合センター 21世紀地方自治制度についての調査研究会 委員
【 受賞歴等 】	KDDI Foundation 奨励賞(2020年03月), 第45回藤田賞奨励賞(2019年09月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	政治学とアナキズム	現代思想 特集=統 治vsアナキー	2025年 3月号	33～42	青土社	2025年02月27日
論文	単著	The Collapse of the Japanese Empire and the Institutionalization of Personal ID Cards	Takahiro Yamamoto ed. Documenting Mobility in the Japanese Empire and beyond		217～240	Palgrave Macmillan	2022年
論文	単著	疫病と酸っぱい葡萄-感染経路追 跡にまつわる権力手段について (特集 統計学/データサイエンス)	現代思想	48巻 12号	129～138	青土社	2020年09月
著書等出版物	共著	『権力を読み解く政治学』			1～173	有斐閣	2023年12月20日
著書等出版物	分担執筆	北山俊哉・稲継裕昭編『テキストブ ック地方自治 第3版』			i～295, 305(232～250)	東洋経済新報社	2021年09月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	分担執筆	飯田高ほか編『世の中を知る、考 える、変えていく』			194～207	有斐閣	2023年07月31日
Misc	共著	座談会y-knot『権力を読み解く政 治学』合評会		698号	4～27	有斐閣	2024年9月
Misc	共著	座談会 政治学の教科書は何をめざ すのか:『政治学入門』(有斐閣ス トディア)をもとに考える(上)		689号	4～19	有斐閣	2023年9月
講演・発表	単独	税と給付の歴史的起源	21世紀地方自治制度 についての調査研究 会			一般財団法人自治 総合センター	2023年02月08日
講演・発表	単独	コロナ時代の公と民	21世紀政策研究所勉 強会			21世紀政策研究所	2021年09月17日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	官僚組織のダイバーシティと社会的 応答性に関する比較研究	日本学術振興会	渡辺 恵子	24K04701	4680000	2024年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	挑戦的研究 (開拓)	持続的改革とデジタル化時代の制 度作動に対する総合的研究	日本学術振興会	牧原 出	22K18256	11570000	2022年06月30日～ 2025年03月31日
科研費	基盤研究(A)	東アジア諸国の政治におけるダイ バーシティ問題	日本学術振興会	菊部 直	22H00047	41860000	2022年04月01日～ 2026年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 演習(4), 演習II, 政治学概論【木曜日オンデマンド型授業】, 比較政治入門【水曜日オンデマンド型授業】, 行政学B, 行政と市民生活(デジタル時代の行政と社会)【火曜日オンデマンド型授業】, 政策過程論, 行政学A, 演習I	

【 職・氏名 】	教授 中川 孝博 (NAKAGAWA Takahiro)
【 学 位 】	博士(法学) (1999年03月,一橋大学)
【本学就任年月日】	2008年04月01日
【 略 歴 】	一橋大学 法学部 卒業 一橋大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 一橋大学 大学院法学研究科 博士課程 修了
【 研究分野 】	刑事訴訟法
【 所属学会 】	日本刑法学会, 法と心理学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]法と心理学会 理事
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	刑事司法にAIを導入する視点	法と心理	24巻 1号	19～ 23, 5	日本評論社	2024年10月20日
論文	単著	最判平30・7・13と最判平22・4・27中の説示「間接事実中に、被告人が犯人でないとしたならば合理的に説明することができない(あるいは、少なくとも説明が極めて困難である)事実関係が含まれていることを要する」の関係	渡辺修先生古稀祝賀論文集『刑事司法の理論と実践』		369～ 391, 23	現代人文社	2024年05月31日
論文	単著	「被告人が犯人でないとしたならば合理的に説明することができない(あるいは、少なくとも説明が極めて困難である)事実関係」(最判平22・4・27)は間接事実中に必要か	赤池一将=石塚伸一=斎藤司=武内謙治編『刑事司法と社会的援助の交錯 土井政和先生・福島至先生古稀祝賀論文集』		416～ 435, 20	現代人文社	2022年11月10日
論文	単著	違法収集証拠排除法則における「重大な違法」	後藤昭編集代表『裁判員時代の刑事証拠法』		351～ 364, 14	日本評論社	2021年07月30日
著書等出版物	単著	刑事訴訟法の基本〔第2版〕			318	法律文化社	2023年04月10日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	裸の強制処分法定主義——刑事訴訟法197条1項の解釈試論	犯罪と刑罰	29号	5～ 24, 20	刑法読書会	2020年03月20日
論文	単著	接見禁止と弁護人との接見交通権	葛野尋之=石田倫識編著『接見交通権の理論と実務』		310(96～113)	現代人文社	2018年06月10日
論文	単著	経験則の機能	季刊刑事弁護	90号	25～32,8	現代人文社	2017年04月20日
論文	単著	再審請求審における検察官の活動——事実取調べと即時抗告等に関して	犯罪と刑罰	25号	55～75, 21	刑法読書会	2016年03月20日
論文	単著	勾留の相当性・序説	浅田和茂=葛野尋之=後藤昭=高田昭正=中川孝博編『福井厚先生古稀祝賀論文集 改革期の刑事法理論』		558(43～ 64)	法律文化社	2013年06月16日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	供述の信用性評価に関する公共的基準の構築	日本学術振興会	中川孝博	24K04595	4550000	2024年04月01日～2027年03月31日
科研費	基盤研究(B)	刑事再審手続法改革のための実証的、比較法的研究	日本学術振興会	田淵浩二	17H02464	17290000	2017年04月01日～2020年03月31日
科研費	基盤研究(B)	少年事件の裁判員裁判に関する実証的研究	日本学術振興会	葛野尋之	22330024	15080000	2010年04月01日～2013年03月31日

**担当授業科目**

2024年度: 刑事法入門, 刑事訴訟法IA, 刑事訴訟法IB, 刑事手続法概論, 演習(4), 刑事訴訟法II, (専)刑事訴訟法IA, (専)刑事訴訟法IB, (専)刑事手続法概論

【 職・氏名 】	教授 中曾根 玲子 (NAKASONE Reiko)
【 学位 】	法学修士
【 本学就任年月日 】	2004年04月01日
【 略 歴 】	中央大学 法学部 法律学科 卒業 早稲田大学大学院 法学研究科 博士前期課程 民事法専攻 修了 早稲田大学大学院 法学研究科 博士後期課程 民事法専攻 退学
【 研究分野 】	会社法、金融商品取引法(資本市場法)
【 所属学会 】	日本私法学会, 日仏法学会, 証券経済学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 千葉県庁健康福祉部 千葉県国民健康保険運営協議会委員長, 農林水産省横浜植物防疫所・動物検疫所 入札等監視委員会委員, 全国健康保険協会千葉支部 評議会委員長, 千葉県 コンプライアンス委員会委員, 行政書士試験センター 行政書士試験委員(商法担当), 千葉縣市原市 入札監視委員会委員, 千葉県 選挙管理委員会委員, 千葉県個人情報保護審議会 委員・会長, 総務省 情報公開・個人情報保護審査会 委員, 金融庁 公認会計士試験委員(企業法担当), 市原市 中高層建築物等紛争調整委員会委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「大量保有報告義務違反と議決権行使の可否 —令和6年金商法改正で見送られた論点—」	『福原紀彦先生古稀 記念論文集 「現代企 業法の潮流」』		390～ 408	文眞堂	2025年03月31日
論文	単著	「違法な公開買付けと議決権行使の可否 —平成26年改正会社法での審議を 題材として—」	『丸山秀平先生古稀 記念論文集 商事立 法における近時の発 展と展望』		235～ 247	中央経済社	2021年10月30日
Misc	単著	株式会社に求められる目的とは何か —八幡製鉄事件—	WEB日本評論社	第79号		判例時報社	2024年12月02日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「新株発行無効の訴え・不存在確認 の訴えと株式の効力」	早稲田法学	94巻, 3 号	123～ 170	早稲田大学法学会	2019年03月20日
論文	単著	「株式併合・株式分割と正当の理 由」	法學新報	114 巻,11 号	411～ 443	中央大学	2008年04月25日
論文	単著	「フロントランニングに対する規制」	ジュリスト	1256号	142～ 148	有斐閣	2003年11月01日
論文	単著	「ストック・オプションの付与と理由の 開示」	『酒巻俊雄先生古希 記念論文集 21世紀 の企業法制』		519～ 536	商事法務研究会	2003年03月01日
論文	単著	「フロントランニングと自主規制ルー ルについて—アメリカ証券市場にお ける自主規制機関取組み—」	『奥島孝康先生還暦 記念論文集 第一巻 比較会社法研究』		259～ 278	成文堂	1999年12月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 演習(4), (専)会社法IB, (専)会社法IA, 論述問題演習, パブリックサービス・インターンシップ

【 職・氏名 】	教授 長又 高夫 (NAGAMATA Takao)
【 学 位 】	博士(法学) (2001年02月15日, 國學院大學, 法乙第11号)
【本学就任年月日】	2019年04月01日
【 略 歴 】	國學院大學 文学部史学科 卒業 國學院大學 大学院文学研究科日本史学専攻 博士課程前期 修了 國學院大學 大学院文学研究科日本史学専攻 博士課程後期 満期退学
【 研究分野 】	日本法制史(法典編纂史・法思想史)
【 所属学会 】	法制史学会、日本歴史学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「御成敗式目」の評価をめぐって— 佐藤雄基氏『御成敗式目』(中公新 書)に寄せて—	國學院法學	第62巻 第1号	39～114	國學院大學法学会	2024年07月10日
論文	単著	「御成敗式目」増補編纂説再考	國學院法學	第61巻 第2号	31～102	國學院大學法学会	2023年09月10日
論文	単著	鎌倉期豊後守護大友泰直の「新御 成敗状」についての基礎的考察	國學院法學	第60巻 第4号	45～117	國學院大學法学会	2023年03月10日
論文	単著	「建武式目」の評価をめぐって	國學院雑誌	第122 巻第11 号	333～352	國學院大學	2021年11月15日
論文	単著	「御成敗式目」第42条の法解釈をめ ぐって	國學院法學	第58巻 第4号	1～41	國學院大學法学会	2021年03月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「御成敗式目」第八条の法解釈をめ ぐって	國學院法學	第57巻 第3号	1～48	國學院大學法学会	2019年12月10日
論文	単著	召文違背、下知違背に対する泰時 執政期の処分をめぐって(高塩博 先生古稀記念号)	法史学研究会会報 = Bulletin of the Society for Legal History	22	2～17	法史学研究会	2018年
論文	単著	学史 小中村清矩の律令学	古代文化	第55巻 第9号	523～527	古代学協会	2003年09月
著書等出版物	単著	中世法書と明法道の研究			418	汲古書院	2020年02月16日
著書等出版物	単著	御成敗式目編纂の基礎的研究			344	汲古書院	2017年10月18日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度: 演習(4), 法律学特殊講義Ⅱ(死刑制度の沿革)【木曜日オンデマンド型授業】、國學院の学び(國學院と法制史学)【金曜日オンデマンド型授業】、日本文化を知る(日本文化の普遍性と固有性)【木曜日オンデマンド型授業】、法制史A【火曜日オンデマンド型授業】、法制史B【火曜日オンデマンド型授業】、法史学入門【金曜日オンデマンド型授業】	

【 職・氏名 】	准教授 姫野 学郎 (HIMENO Gakuro)
【 学 位 】	修士(法学)
【 本学就任年月日 】	2004年04月01日
【 略 歴 】	京都大学 法学部 卒業 京都大学 大学院法学研究科 民刑事法学専攻 修士課程 修了 京都大学 大学院法学研究科 民刑事法学専攻 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	民法, 比較法
【 所属学会 】	日本私法学会, 比較法学会, 日本法社会学会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	アメリカ法における第三者のために する契約: ケスラー『北アメリカ法に おける第三者のためにする契約の 社会的機能』を中心に	國學院法学	60巻 2 号	198～96	國學院大學法学会	2022年09月
論文	単著	アメリカ合衆国における製造物責任 法の誕生: ケスラーとプリーストをめぐって	國學院法学	60巻 1 号	244～183	國學院大學法学会	2022年07月
論文	単著	リペール『民主制と現代民法』: そ のランベール批判を中心に	國學院法学	58巻 3 号	498～353	國學院大學法学会	2020年12月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	ブランドイスにおける法と事実: ロク ナー期における「事実の傾分」によ る「法の傾分」の侵食の問題	國學院法学	57巻 2 号	254～112	國學院大學法学会	2019年09月
論文	単著	土地所有と企業所有—最高裁判 事ブランドイスの場合	國學院法学	56巻 4 号	250～172	國學院大學法学会	2019年03月
論文	単著	裁判官統治論—コモン・ローにお ける制定法の脆弱さとその克服の 試み	國學院法学	56巻 3 号	174～63	國學院大學法学会	2018年12月
論文	単著	エドゥアール・ランベールの比較法 (3)—法の「社会化」と「国際化」	國學院法学	55巻 2 号	88～34	國學院大學法学会	2017年09月
Misc	単著	翻訳・ランベール「比較法と国際的 法意識の形成—開講の辞」	國學院法学	55巻 4 号	178～158	國學院大學法学会	2018年03月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究(B)	コモン・ローの「学問化」—イングラ ンド・アメリカにおける契約法学の成 立—	日本学術振興会	姫野 学郎	16730006	3000000	2004年04月01日～ 2006年03月31日

担当授業科目
2024年度: 民法・債権各論B, (専)判例演習, (専)基礎演習, 民法・総則, 民法・総則, 演習(4), 基礎演習, 外書講読(法律)I, 民法・債 権各論B

【 職・氏名 】	教授 平地 秀哉 (HIRACHI Shuya)
【 学 位 】	修士(法学)
【本学就任年月日】	2005年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業 早稲田大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 早稲田大学 大学院法学研究科 博士後期課程 単位取得退学
【 研究分野 】	憲法
【 所属学会 】	日本公法学会, 日米法学会, 憲法理論研究会, 全国憲法研究会
【学外委員等活動】	[過去5年間]法務省 司法試験予備試験審査委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「平等と自由・再考—平等実現に向けた違憲審査の諸類型」	『講座 立憲主義と憲法学<第2巻>人権I』		73～100	信山社	2022年11月15日
論文	単著	「デジタルプラットフォームの公共性と表現の自由」	『法学教室』	490号	60～65	有斐閣	2021年07月01日
論文	単著	「オンライン・プラットフォーム免責規定の見直しを命ずるトランプ大統領の行政命令」	『ジュリスト』	1550号	96～100	有斐閣	2020年09月25日
論文	単著	「ベンジャミン・N・カードーン: "Pure Judge"」	『アメリカ憲法の群像: 裁判官編』		125～144	尚学社	2020年06月30日
Misc	単著	金沢市庁舎前広場訴訟と集会の自由の意義	有斐閣Onlineロージャーナル			有斐閣	2023年06月05日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
Misc	単著	「<学会展望>憲法 人権」	『公法研究』	85号	256～265	有斐閣	2024年10月01日
論文	単著	「再婚禁止期間規定違憲判決」	『法学教室』	464号	10～14	有斐閣	2019年04月27日
論文	単著	「放送・インターネットにおける名誉毀損」	『論究ジュリスト』	25号	54～60,7	有斐閣	2018年04月25日
著書等出版物	共訳	『アメリカ憲法理論史:その基底にあるもの』			407(275～315)	北大路書房	2020年05月20日
講演・発表	単独	アメリカ合衆国における通信品位法230条をめぐる近時の動向	情報法制学会第4回研究大会			情報法制学会	2020年12月05日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	熟議民主政構築に向けた人権保障と違憲審査制のあり方	日本学術振興会	平地秀哉	16K03299	3120000	2016年04月01日～2020年03月31日

担当授業科目
2024年度:憲法IA, 憲法IB, 憲法IIA, 憲法III, 演習(4), (専)憲法応用演習, (専)憲法応用演習I, (専)憲法応用演習II

【 職・氏名 】	教授 廣瀬 美佳 (HIROSE Mika)
【 学位 】	法学修士
【本学就任年月日】	2005年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業 早稲田大学大学院 法学研究科 修士課程 民事法学専攻 修了 早稲田大学大学院 法学研究科 博士課程 民事法学専攻 満期退学
【 研究分野 】	民法、医事法、環境法
【 所属学会 】	比較後見法制研究所, 日本精神神経学会, 日本医事法学会, 法と精神医療学会, 日本私法学会, 環境法政策学会, 日本成年後見法学会, 国際比較環境法センター
【学外委員等活動】	[過去5年間] 日本法律家協会 会員
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
Misc	単著	美容整形術についての術前説明 義務—脂肪吸引(大阪高判平成23 年7月12日)	甲斐克則=手嶋豊編 『別冊ジュリスト 医事法判例百選[第 3版]』		68～9	有斐閣	2022年07月30日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	医療における代諾の観点からみた 成年後見制度	田山輝明編著『成年 後見人の医療代諾権 と法定代理権 —障害 者権利条約下の成年 後見制度—』			三省堂	2015年06月10日
論文	単著	認知症高齢者への人工的水分・栄 養補給をめぐる法的問題	実践 成年後見	No.42		民事法研究会	2012年07月31日
Misc	単著	歴史に学ぶということ～鉱毒事件を 手がかりとして	JEASニュース	165号	3～12	日本環境アセスメント 協会	2020年01月01日
Misc	単著	水俣病認定問題—障害補償費と損 害賠償(最高裁平成 29年9月8日第二小法廷判決	別冊ジュリスト 環境法 判例百選 [第3版]		7～186	有斐閣	2018年09月13日
Misc	単著	「チーム医療における総責任者と説 明義務 最一判平成20年4月24日 (民集62巻5号1178頁)」	『法の支配』	第163 号	15	財団法人 日本法律 家協会	2011年10月30日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

**担当授業科目**

2024年度: 医事法, 演習(4), 論述問題演習, 応用法律学(公務員試験対策・民法B), 民法・債権各論A【月曜日オンデマンド型授業】、基礎法律学1(民法B), 基礎法律学1(民法A), 応用法律学(公務員試験対策・民法A)

【 職・氏名 】	教授 福岡 英明 (FUKUOKA Hideaki)
【 学 位 】	博士(法学) (2002年03月,中央大学,法博乙第63号)
【本学就任年月日】	2004年04月01日
【 略 歴 】	中央大学 法学部法律学科 卒業 中央大学 大学院法学研究科 博士前期課程 修了 中央大学 大学院法学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	憲法
【 所属学会 】	日本公法学会, 全国憲法研究会, 憲法理論研究会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 日弁連法務研究財団 法科大学院認証評価事業評価員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	特異な間接的付随的制約論あるいは猿払基準のゆくえ	松山大学論集	第35巻 記念号	436～466	松山大学総合研究 所	2023年12月01日
Misc	単著	『統治機構と対抗権力』只野雅人・佐々木雅寿・木下和朗編著(日本評論社, 2023年)	憲法研究	14号	167～172	信山社	2024年05月03日
著書等出版物	分担執筆	プロヴァンスからの憲法学一日仏交流の歩みー			366(209-220)	敬文堂	2023年09月25日
著書等出版物	共著	フォーカス憲法			349(253-259)	北樹出版	2020年10月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共著	憲法理論の再構築			459(267～283)	敬文堂	2019年01月25日
著書等出版物	共著	フランスの憲法判例II			426(220～224)	信山社	2013年03月25日
著書等出版物	共著	フランス憲法と統治構造			319(35～55)	中央大学出版部	2011年09月05日
著書等出版物	共著	議会の役割と憲法原理			262(243～262)	信山社	2008年12月25日
著書等出版物	単著	現代フランス議会制の研究			303	信山社	2001年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	刑事施設の民営化とその評価に関する政策法学的研究	日本学術振興会	赤池 一将	15530054	1900000	2003年～2004年

担当授業科目	
2024年度: 論述問題演習, (専)憲法IA, (専)憲法IB, 演習(4), 応用法律学(公務員試験対策・憲法A), 応用法律学(公務員試験対策・憲法B)	

【 職・氏名 】	教授 藤嶋 亮 (FUJISHIMA Ryo)
【 学 位 】	博士(法学) (2010年03月, 東京大学, 第17325号)
【本学就任年月日】	2014年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 大学院法学政治学研究所 博士課程 単位取得満期退学
【 研究分野 】	比較政治
【 所属学会 】	東欧史研究会, 日本比較政治学会, 日本政治学会, ロシア・東欧学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]かわさき市民アカデミー 講座コーディネーター, 世田谷市民大学 政治コース講師
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「両大戦間期東欧における権威主義とファシズム(一)ールーマニアにおける政治体制の変動/変容の分析視角ー」	『國學院法學』	第62巻 第4号	47～ 53	國學院大學法学会	2025年03月10日
著書等出版物	分担執筆	『比較政治学事典』			xxii, 697(230- 231)	丸善出版	2025年01月27日
著書等出版物	分担執筆	『世界変動と脱EU/超EU: ポスト・コロナ、米中覇権競争下の国際関係』			vii, 326(135- 153)	日本経済評論社	2022年02月15日
著書等出版物	分担執筆	『ポスト・グローバル化と国家の変容』			282(177-206)	ナカニシヤ出版	2021年11月30日
その他	単	「民主主義と自由主義の不協和音ールーマニア政治の現在地」	『世界』	2020年 9月号	20～ 23	岩波書店	2020年09月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	Obsession with Conspiracy Theories: The Ideology of the Romanian Ultranationalist	『國學院法學』	第56巻 第4号	107～ 133, 27	國學院大學法学会	2019年03月10日
論文	単著	「半大統領制と政党間競争ールーマニアとブルガリアの比較からー」	『日本比較政治学会 年報第18号 執政制度の比較政治学』		209～ 237	ミネルヴァ書房	2016年06月30日
論文	単著	「半大統領制の低位類型に関する一試論ーヨーロッパの事例を中心にー」	『21世紀デモクラシー の課題ー意思決定構造の比較分析ー』		101～ 138	吉田書店	2015年01月30日
論文	単著	「南東欧諸国における寡頭的議会制からの移行ールーマニアとブルガリアの比較からー」	『日本比較政治学会 年報第16号 体制転換/非転換の比較政治』		129～ 155	ミネルヴァ書房	2014年06月01日
著書等出版物	単著	『国王カロール対大天使ミカエル軍団ールーマニアの政治宗教と政治暴力』			446	彩流社	2012年08月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	民主化の「第三の波」再訪: 体制移行論の新たな視角	日本学術振興会	横田正顕	24H00135	47710000	2024年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	基盤研究(A)	自由民主主義の「裏面史」ー非・自由民主主義の多様性と正統性の解明	日本学術振興会	武藤祥	23H00044	46020000	2023年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	基盤研究(C)	欧州「周辺」における第一次大戦の衝撃と政治変動ーバルカンとイペリアの比較から	日本学術振興会	藤嶋亮	19K01453	4420000	2019年04月01日～ 2025年03月31日

担当授業科目

2024年度: 比較政治A, 比較政治B, 基礎演習A, 演習I, 演習(4), 演習II, 政治変動論, 外書講読(政治)II, 20世紀の政治B, オムニバスセミナー(現代社会を読み解く), 西洋政治史B, 現代の政治

【 職・氏名 】	教授 宮内 靖彦 (MIYAUCHI Yasuhiko)
【 学 位 】	法学修士
【本学就任年月日】	1993年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業 早稲田大学大学院 法学研究科 修士課程 修了 早稲田大学大学院 法学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	国際法、国際組織法、安全保障
【 所属学会 】	米国国際法学会, 国際法学会, 世界法学会, ヨーロッパ国際法学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「伝統的国際法における在外自国民保護のための武力行使の機能」	平覚＝梅田徹＝濱田太郎(編集代表)『国際法のフロンティア－宮崎繁樹先生追悼論文集』		431～453	日本評論社	2019年07月30日
論文	単著	「武力不行使原則の分権的執行に関する一考察」	『國學院法學』	第52巻 4号	267～305	國學院大學法学会	2015年03月10日
論文	単著	「自衛の発動要件にとつての非国家的行為の意味－国際判例の観点からの分析－」	村瀬信也編『自衛権の現代的展開』		131～164, 308	東信堂	2007年05月20日
論文	単著	「国際テロ行為に対する報復爆撃の問題提起－国際法強制システム形成への胎動?－」	『國學院法學』	第38巻 第1号	75～136	國學院大學法学会	2000年07月01日
論文	単著	「武力行使の類型化の意義と問題点－『武力による対抗措置』の存在基盤－」	『國學院法學』	第32巻 第4号	109～158	國學院大學法学会	1995年03月01日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

**担当授業科目**

2024年度: 国際紛争処理法, 外書講読(法律)II, 演習(4), 国際法の基礎, 国際組織法各論, 国際組織法総論, 基礎演習, 国際人権・人道法

【 職・氏名 】	教授 本久 洋一 (MOTOHISA Yoichi)
【 学 位 】	修士(法学)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 法学部 卒業 早稲田大学 大学院法学研究科 修士課程 修了 早稲田大学 大学院法学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	労働法
【 所属学会 】	日本労働法学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]神奈川県労働委員会 公益委員
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	労働法の憲法的機能と職場共同体	労働法律旬報	2071+7 2	103～114	旬報社	2025年01月25日
論文	単著	道幸法学の思考方法を求めて	労働法律旬報	2061	13～19	旬報社	2024年08月25日
論文	単著	団結権による労使自治の規制について	労働法律旬報	2058	6～14	旬報社	2024年06月25日
論文	単著	年俸額決定権の設定と濫用の成否	ジュリスト	1597	194～195	有斐閣	2024年05月01日
論文	単著	新しい労働基準法制の規制原理について	労働法律旬報	2052	6～15	旬報社	2024年03月25日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共著	労働法の正義を求めて: 和田肇先生古稀記念論集 (「自由主義的労働法批判について」 —シュビオとハイエク)			108～144	日本評論社	2023年12月01日
著書等出版物	共著	社会法をとりまく環境の変化と課題: 浜村彰先生古稀記念論集 (『労働の中心性』と労働法批判—メ ダ=シュビオ論争の展開)			25～44	旬報社	2023年03月01日
著書等出版物	共著	働く社会の変容と生活保障の法: 島田陽一先生古稀記念論集 (『労働の中心性』と労働法の基礎 理論—メダ=シュビオ論争の端緒)			97～114	旬報社	2023年01月01日
著書等出版物	共著	労働法における最高裁判例の再検討 (「集団的労働関係における労働 者」)			149～168	旬報社	2022年02月01日
著書等出版物	共著	社会法のなかの自立と連帯: 北海 道大学50周年記念論集 (「労働社概念の相対性について」)			23～41	旬報社	2022年02月01日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	企業再編を考慮した雇用終了に関する使用者の雇用・賠償責任の比較的研究	日本学術振興会	小宮 文人	20530052	4290000	2008年4月1日～ 2011年3月31日
科研費	基盤研究(A)	労働市場、法政策及び労働法の編成原理に関する研究	日本学術振興会	和田 肇	20243006	32240000	2008年4月1日～ 2012年3月31日
科研費	基盤研究(C)	企業組織の変動と労働法	日本学術振興会	和田 肇	11620057	2700000	1999年4月1日～ 2002年3月31日

**担当授業科目**

2024年度: 派遣研究期間のため担当授業科目なし

【 職・氏名 】	教授 森川 隆 (MORIKAWA Takashi)
【 学 位 】	修士(法学)
【本学就任年月日】	2011年04月01日
【 略 歴 】	上智大学 法学部 法律学科 卒業 慶應義塾大学 大学院 法学研究科 修士課程 修了 慶應義塾大学 大学院 法学研究科 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	商法・会社法
【 所属学会 】	日本私法学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
Misc	共著	「対人賠償保険金支払債務の履行期(最判昭和54年5月31日・判例研究)」	『保険法 判例百選』(第2版)		70～71	有斐閣	2025年3月11日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「原始産業に対する商法の適用—その沿革的考察—」	『國學院法学』	51巻4号	207～238	國學院大學法学会	2014年03月10日
論文	単著	「商法522条の軌跡」	『國學院法学』	50巻4号	149～187	國學院大學法学会	2013年03月10日
論文	単著	「会社法の成立に伴う商法の改正(上)(下)」	『税経通信』	61巻6号, 7号	(6号)39～45, (7号)51～59	税務経理協会	2006年05月01日
著書等出版物	分担執筆	『民法とつながる商法総則・商行為法』(第2版)			17～56	商事法務	2018年11月20日
著書等出版物	分担執筆	『新基本法コンメンタール(会社法1)』(第2版)			93～111	日本評論社	2016年04月15日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

**担当授業科目**

2024年度:会社法の基礎【月曜日オンデマンド型授業】、株式会社法IA【月曜日オンデマンド型授業】、株式会社法IA【水曜日オンデマンド型授業】、会社法の基礎【木曜日オンデマンド型授業】、会社法の基礎【金曜日オンデマンド型授業】、株式会社法IB【月曜日オンデマンド型授業】、株式会社法IB【水曜日オンデマンド型授業】、商法研究B(講義)

【 職・氏名 】	教授 安田 恵美 (YASUDA Megumi)
【 学位 】	博士(法学) (2013年03月,大阪市立大学,第5864号)
【本学就任年月日】	2015年04月01日
【 略 歴 】	福島大学 行政社会学部 卒業 大阪市立大学 大学院法学研究科 法学政治学専攻 前期博士課程 修了 大阪市立大学 大学院法学研究科 法学政治学専攻 後期博士課程 修了
【 研究分野 】	刑事政策
【 所属学会 】	日本刑法学会, 日本犯罪社会学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 客員研究員
【 受賞歴等 】	守屋研究奨励賞 (2019年12月22日)

**【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	新しい刑事政策(第6回)「犯罪をした高齢者の特性とそれに応じた対応」	法学セミナー	69, 9	87～92	日本評論社	2024年08月
論文	単著	フランスにおける「効果的で意味のある刑罰」をめぐる立法と議論:「再犯防止」と「社会参加の促進」に向けた施策と実践に対する批判的考察	國學院法学	61, 4	150～120	國學院大學法学会	2024年03月
論文	単著	高齢受刑者等への対応に関わる「専門家」間の協働関係	法律時報	96, 3	21～25	日本評論社	2024年03月
論文	単著	新型コロナウイルス感染症対策としての早期釈放制度活用の可能性:フランスにおける2020年3月25日のオールドナンス2020-303号の経験から	國學院法学	59, 4	89～128	國學院大學法学会	2022年03月10日
著書等出版物	編著	再犯防止から社会参加へーヴァルネラビリティから捉える高齢者犯罪			9～39	日本評論社	2021年01月20日

**【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)**

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	刑務所拘禁による「社会的排除」を回避するための施策に関する一考察	現代の社会病理	34	39～54	日本社会病理学会	2019年09月30日
論文	単著	拘禁の継続と相いれない受刑者に対する自由刑の裁量的執行停止の運用に関する一考察	法学雑誌	64, 4	971～1010	大阪市立大学法学会	2019年03月31日
論文	共著	第1章刑務所出所者の社会で更に生きるチカラとそれを支える人々のチカラの醸成	URP「先端的都市研究」シリーズ13『先端的都市研究拠点2017年度公募型共同研究によるアクションリサーチ』		1～12	大阪市立大学都市研究プラザ	2018年03月01日
論文	単著	フランスにおける治療を理由とする刑の執行停止制度の改革	罪と罰	55,1	81～92	日本刑事政策研究会	2017年12月01日
著書等出版物	単著	高齢犯罪者の権利保障と社会復帰			236	法律文化社	2017年01月01日

**【競争的資金】 (3点まで)**

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究	バルネラブルな刑務所出所者等の「社会参加」促進に向けた施策に関する研究	日本学術振興会	安田 恵美	20K13354	4160000	2020年04月01日～2025年03月31日
科研費	国際共同研究加速基金(4国際共同研究強化(A))	刑務所出所者等の主体的な社会参加とそれを促進するための支援に関する日仏比較研究	日本学術振興会	安田 恵美	19KK0312	15210000	2020年04月01日～2025年03月31日
科研費	若手研究(B)	高齢犯罪者における「社会復帰」概念に関する理論的実証的研究	日本学術振興会	安田 恵美	17K13635	4290000	2017年04月01日～2020年03月31日

**担当授業科目**

2024年度: 犯罪学A, 刑事政策A, 演習(4), 刑事法入門, 犯罪学B, 刑事手続法概論, 刑事政策B, 犯罪学入門【火曜日オンデマンド型授業】

【 職・氏名 】	准教授 山下 裕樹 (YAMASHITA Hiroki)						
【 学 位 】	博士(法学) (2017年09月,関西大学,34416甲第653号)						
【本学就任年月日】	2023年04月01日						
【 略 歴 】	関西大学 法学部法律学科 卒業 関西大学 大学院法学研究科 博士課程前期課程 修了 関西大学 大学院法学研究科 博士課程後期課程 修了						
【 研究分野 】	刑法						
【 所属学会 】	日本刑法学会						
【学外委員等活動】							
【 受賞歴等 】							
<b>【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)</b>							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	Verkehrstrafrechtliche Probleme automatisch gesteuertes fahrerloser Fahrzeuge	Die Transformation des Rechts in der Post-Covid-Gesellschaft - Vorträge des 10. Trilateralen deutsch-japanisch-koeranischen Seminars 3. bis 6. November 2023 in Osaka.		121～127	Konstanzer Online-Publikations-System	2024年
論文	単著	赤ちゃんポストと内密出産	法学セミナー	834	108～113	日本評論社	2024年07月
論文	単著	遺棄罪の諸概念の内容について	刑法雑誌	61, 2	18～37	有斐閣	2022年06月
著書等出版物	共著	AI・ロボットと刑法			304	成文堂	2022年12月
著書等出版物	共著	ステップアップ刑法総論			240	法律文化社	2022年10月
<b>【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)</b>							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	【判例研究】刑法65条2項における「身分のない者には通常の刑を科する」の意義	新・判例解説Watch	34	175～178	日本評論社	2024年04月
論文	単著	【判例研究】邸宅侵入、現住建造物等放火被告事件1件を含む複数の被告事件が併合審理された裁判員裁判において、建造物等以外放火被告事件では公共の危険の発生の有無が争われたのに対し、犯行現場の客観的状況や被告人の行為態様から公共の危険の発生が推認される上、燃焼実験結果に基づいて複数の延焼可能性が存在すると指摘する専門家証言は客観的な裏付けを伴う合理的な判断であるとして公共の危険の発生を認めた第一審の認定判断が、控訴審において是認された事例	刑事法ジャーナル	79	254～259	成文堂	2024年02月
論文	単著	自動運転に関する道路交通法の改正とその問題点	関西大学法学研究所研究叢書第70冊『技術革新と刑事法』		93～112	関西大学法学研究所	2024年
論文	単著	【判例研究】保護責任者不保護致死罪における不保護と要保護状況	新・判例解説Watch	32	187～190	日本評論社	2023年04月
Misc	単著	【翻訳】フラウケ・ロスタルスキー「刑法学のペンディングの影響」	関西大学法学論集	74, 2	321～347	関西大学法学会	2024年07月
<b>【競争的資金】 (3点まで)</b>							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	性犯罪規定改正後に想定される実務上の諸問題に関する理論的研究	日本学術振興会	嘉門優	21K01209	4160000	2021年04月01日～2024年03月31日
科研費	若手研究	不作為による死体遺棄罪の終了時期と告訴時効の成否	日本学術振興会	山下裕樹	19K13549	3640000	2019年04月01日～2022年03月31日
科研費	基盤研究(C)	知的エージェントによる有害行為に対する刑事責任	日本学術振興会	石井徹哉	18K01309	4290000	2018年04月01日～2022年03月31日
<b>担当授業科目</b>							
2024年度: 刑法総論 I, 刑法総論II, 刑法各論I, 刑法各論II, 基礎演習, 演習(4), (専)刑法総論I, (専)刑法総論II							